



# 令和2年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和元年11月5日

上場会社名 株式会社UEX

上場取引所 東

コード番号 9888 URL <https://www.uex-ltd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岸本 則之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長 (氏名) 秀高 雅紀

TEL 03-5460-6500

四半期報告書提出予定日 令和元年11月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

## 1. 令和2年3月期第2四半期の連結業績(平成31年4月1日～令和元年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年3月期第2四半期	26,386	11.2	548	30.4	554	35.7	347	46.4
31年3月期第2四半期	23,722	5.8	787	11.5	862	19.1	648	26.3

(注) 包括利益 2年3月期第2四半期 366百万円 (40.1%) 31年3月期第2四半期 611百万円 (1.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
2年3月期第2四半期	31.50	
31年3月期第2四半期	58.82	

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
2年3月期第2四半期	41,940	12,598			28.8
31年3月期	35,239	12,075			34.2

(参考) 自己資本 2年3月期第2四半期 12,095百万円 31年3月期 12,057百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
31年3月期		5.00		28.00	33.00
2年3月期		5.00			
2年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 令和2年3月期の期末配当額は、未定であります。

## 3. 令和2年3月期の連結業績予想(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当 期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	54,000 ～ 60,000	9.0 ～ 21.1	950 ～ 1,150	35.3 ～ 21.7	900 ～ 1,100	42.5 ～ 29.8	600 ～ 750	46.2 ～ 32.7

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) 令和特殊鋼株式会社、除外 社 (社名)

(注)詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2年3月期2Q	12,000,000 株	31年3月期	12,000,000 株
---------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

2年3月期2Q	980,535 株	31年3月期	980,535 株
---------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2年3月期2Q	11,019,465 株	31年3月期2Q	11,019,465 株
---------	--------------	----------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期におけるわが国経済は、個人消費や雇用環境の改善により緩やかな回復基調で推移しましたが、設備投資の伸び率鈍化など製造業を中心に景況判断には慎重な見方が増加しました。また、本年10月の消費税率引き上げや米中貿易摩擦長期化の影響もあり、景気の先行きは不透明な状況となっております。

当社企業集団の属するステンレス鋼業界におきましては、各品種において需給が緩んだことから、ステンレス鋼市況は横ばいからやや軟調な動きとなりました。

このような状況のなか、当社企業集団の連結業績は、主力事業であるステンレス鋼その他金属材料の販売事業において、引き続き在庫販売に重点をおいた営業活動を推進する一方、加工品を中心とした高付加価値商品やチタンの販売にも積極的に取り組みましたが、販売は伸び悩みました。一方で、本年8月からM&Aにより連結子会社が2社加わったことにより、売上高は前年同期に比べ11.2%増加の26,386百万円となりました。営業利益は、売上総利益率の低下に加え、80百万円のM&A費用の発生等もあったことから販売費及び一般管理費が増加し、前年同期に比べ30.4%減少の548百万円、経常利益は35.7%減少の554百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は46.4%減少の347百万円となりました。

なお、セグメント別の状況は以下のとおりです。

#### ステンレス鋼その他金属材料の販売事業

U E X 単体については、ステンレス鋼の販売において、前年同期に比べ販売数量が3.6%減少、販売価格も0.3%低下し、連結子会社においても半導体関連向けが低調に推移したこと等により販売は減少しました。一方で、本年8月から連結子会社が2社加わったことにより、売上高は前年同期に比べ11.5%増加の25,521百万円となりました。営業利益は、前年同期に比べ38.4%減少の448百万円となりました。

当事業におきましては、引き続き在庫販売に重点をおいた営業活動を進めてまいりますとともに、新たな連結子会社を加えシナジー効果創出を目指してまいります。また、加工品分野を中心に付加価値を高める提案営業をさらに充実させるとともに、チタンの拡販にも積極的に注力してまいります。一方で、IT機器の活用による業務の効率化、営業活動の活性化に取り組んでまいります。

#### ステンレス鋼その他金属加工製品の製造・販売事業

中国の造管事業が回復基調となったものの、国内建築分野のステンレス加工品販売が高水準であった前年同期を若干下回り、売上高は前年同期に比べ1.3%減少の526百万円となりました。営業利益は、中国造管事業の売上総利益率が上昇したことから販売費及び一般管理費の増加を吸収し前年同期に比べ3.6%増加の90百万円を計上しました。

造管事業におきましては、新規需要家の開拓が課題と認識しております。既存顧客の深掘りに加え中国に進出する日系企業を中心に営業活動を展開し、確固たる収益基盤を構築してまいります。

#### 機械装置の製造・販売及びエンジニアリング事業

当第2四半期は、化学及び食品関連向けで受注物件の売上計上があったことから売上高は前年同期に比べ9.9%増加の338百万円、営業利益は9百万円（前年同期は27百万円の損失）を計上しました。

当事業におきましては、顧客基盤の拡大と安定した財務基盤を構築することが課題と認識しております。そのため、機械商社との連携強化等により顧客開拓に全力を尽くしてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産合計は、住商特殊鋼株式会社(令和元年8月1日に令和特殊鋼株式会社へ商号変更)の連結子会社化に伴う固定資産等の増加により、前連結会計年度末に比べ6,701百万円増加し、41,940百万円となりました。

(負債)

負債合計は、支払手形及び買掛金、短期借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べ6,178百万円増加し、29,342百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、剰余金の配当309百万円がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上347百万円、株式会社ナカタニの連結子会社化による非支配株主持分の増加等により、前連結会計年度末に比べ522百万円増加し、12,598百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少3,575百万円等がありましたが、たな卸資産の増加438百万円、仕入債務の減少3,246百万円などにより、160百万円の支出(前年同期は756百万円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出1,733百万円、無形固定資産の取得による支出310百万円などにより、2,279百万円の支出(前年同期は35百万円の支出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額308百万円及び短期借入金の純増減額3,568百万円などにより、3,167百万円の収入(前年同期は428百万円の支出)となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末から1,078百万円増加し、4,088百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和2年3月期の連結業績につきましては、令和元年10月29日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和元年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,376,591	4,087,811
受取手形及び売掛金	10,863,240	12,289,329
電子記録債権	2,638,517	2,700,394
商品及び製品	8,287,669	10,983,475
仕掛品	58,188	45,232
原材料及び貯蔵品	82,209	78,448
その他	573,488	256,501
貸倒引当金	△5,696	△4,540
流動資産合計	25,874,208	30,436,649
固定資産		
有形固定資産		
土地	5,463,949	5,941,949
その他(純額)	1,376,533	1,909,587
有形固定資産合計	6,840,482	7,851,536
無形固定資産		
のれん	—	1,035,269
その他	142,559	453,021
無形固定資産合計	142,559	1,488,290
投資その他の資産		
投資有価証券	1,678,584	1,242,799
長期滞留債権	152,513	128,264
繰延税金資産	300,484	329,417
その他	402,397	590,920
貸倒引当金	△152,513	△128,264
投資その他の資産合計	2,381,464	2,163,137
固定資産合計	9,364,505	11,502,963
資産合計	35,238,713	41,939,612
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,015,888	10,898,770
電子記録債務	9,078,129	6,955,512
短期借入金	3,585,488	7,299,248
未払法人税等	297,386	186,916
賞与引当金	370,122	417,650
その他	397,231	1,032,304
流動負債合計	20,744,244	26,790,400
固定負債		
長期借入金	545,590	492,288
再評価に係る繰延税金負債	779,198	779,198
引当金	—	95,288
退職給付に係る負債	1,015,673	1,064,149
資産除去債務	—	31,211
その他	78,813	89,395
固定負債合計	2,419,274	2,551,529
負債合計	23,163,518	29,341,928

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和元年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,512,150	1,512,150
資本剰余金	1,058,676	1,058,676
利益剰余金	7,726,620	7,765,235
自己株式	△244,502	△244,502
株主資本合計	10,052,944	10,091,559
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	438,279	440,507
繰延ヘッジ損益	236	795
土地再評価差額金	1,538,550	1,538,550
為替換算調整勘定	△21,212	△25,135
退職給付に係る調整累計額	48,024	48,685
その他の包括利益累計額合計	2,003,877	2,003,402
非支配株主持分	18,374	502,723
純資産合計	12,075,195	12,597,683
負債純資産合計	35,238,713	41,939,612

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)
売上高	23,722,461	26,385,531
売上原価	20,187,112	22,669,968
売上総利益	3,535,348	3,715,562
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	834,910	968,200
賞与引当金繰入額	333,669	362,723
退職給付費用	52,491	59,573
荷造運搬費	450,273	475,097
その他	1,076,862	1,302,261
販売費及び一般管理費合計	2,748,205	3,167,854
営業利益	787,143	547,708
営業外収益		
受取利息	595	3,532
受取配当金	24,780	25,556
受取賃貸料	9,180	12,809
為替差益	39,073	—
持分法による投資利益	26,961	32,654
その他	17,663	17,478
営業外収益合計	118,252	92,028
営業外費用		
支払利息	34,883	41,642
手形売却損	7,550	12,822
為替差損	—	28,811
その他	1,244	2,420
営業外費用合計	43,678	85,696
経常利益	861,718	554,040
特別利益		
固定資産売却益	40	1,955
投資有価証券売却益	95,689	808
段階取得に係る差益	—	15,363
その他	—	4,485
特別利益合計	95,729	22,610
特別損失		
固定資産除却損	1,095	1,264
特別損失合計	1,095	1,264
税金等調整前四半期純利益	956,351	575,386
法人税、住民税及び事業税	194,423	193,266
法人税等調整額	115,450	16,594
法人税等合計	309,873	209,860
四半期純利益	646,478	365,526
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,661	18,366
親会社株主に帰属する四半期純利益	648,139	347,160



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)
四半期純利益	646,478	365,526
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29,716	2,909
繰延ヘッジ損益	638	559
為替換算調整勘定	△9,094	△3,922
退職給付に係る調整額	2,508	661
その他の包括利益合計	△35,664	206
四半期包括利益	610,814	365,732
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	613,597	346,685
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,783	19,047

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	956,351	575,386
減価償却費	148,554	153,916
のれん償却額	—	25,250
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,237	△25,405
賞与引当金の増減額 (△は減少)	17,992	16,601
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	4,174	△13,018
その他の引当金の増減額 (△は減少)	—	△3,403
受取利息及び受取配当金	△25,375	△29,087
支払利息及び手形売却損	42,433	54,464
持分法による投資損益 (△は益)	△26,961	△32,654
段階取得に係る差損益 (△は益)	—	△15,363
有形固定資産売却損益 (△は益)	△40	△1,955
固定資産除却損	1,095	1,264
投資有価証券売却損益 (△は益)	△95,689	△808
為替差損益 (△は益)	△25,850	14,021
売上債権の増減額 (△は増加)	1,701,029	3,575,415
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△589,471	△437,636
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,054,371	△3,246,003
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△8,911	18,132
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△32,413	△156,103
その他	△25,301	△182,237
小計	985,010	290,779
利息及び配当金の受取額	50,165	29,087
利息の支払額	△35,985	△43,544
手形売却に伴う支払額	△7,550	△12,822
法人税等の支払額	△235,823	△423,940
営業活動によるキャッシュ・フロー	755,817	△160,440
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△89,521	△187,615
有形固定資産の売却による収入	40	2,001
無形固定資産の取得による支出	△59,683	△310,255
投資有価証券の取得による支出	△8,419	△8,378
投資有価証券の売却による収入	144,940	4,768
貸付けによる支出	△300	△225
貸付金の回収による収入	260	2,065
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,732,732
その他	△22,513	△48,412
投資活動によるキャッシュ・フロー	△35,196	△2,278,783

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	681	3,567,608
長期借入れによる収入	50,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△173,305	△156,822
配当金の支払額	△296,687	△307,905
非支配株主への配当金の支払額	△800	△32,296
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△4,800	—
リース債務の返済による支出	△2,665	△3,728
財務活動によるキャッシュ・フロー	△427,576	3,166,857
現金及び現金同等物に係る換算差額	20,780	△16,415
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	313,825	711,220
現金及び現金同等物の期首残高	2,696,258	3,376,591
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,010,083	4,087,811

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第2四半期連結会計期間において、住商特殊鋼株式会社(令和元年8月1日に令和特殊鋼株式会社へ商号変更)の株式取得により、連結の範囲に含めております。また当該株式取得により、株式会社ナカタニは、当社企業集団の同社に対する持株比率が67.3%に増加したため、持分法適用の範囲から除外し、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	ステンレス鋼その他金属材料の販売事業	ステンレス鋼その他金属加工製品の製造・販売事業	機械装置の製造・販売及びエンジニアリング事業	合計
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	22,881,489	533,292	307,679	23,722,461
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	253,911	63,606	98	317,615
計	23,135,400	596,898	307,777	24,040,075
セグメント利益又は損失(△)	726,776	86,872	△26,597	787,051

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	787,051
セグメント間取引消去	92
四半期連結損益計算書の営業利益	787,143

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	ステンレス鋼その他金属材料の販売事業	ステンレス鋼その他金属加工製品の製造・販売事業	機械装置の製造・販売及びエンジニアリング事業	合計
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	25,521,167	526,317	338,047	26,385,531
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	199,038	81,506	—	280,544
計	25,720,205	607,823	338,047	26,666,075
セグメント利益	447,756	89,984	9,163	546,902

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当第2四半期連結会計期間において、住商特殊鋼株式会社(令和元年8月1日に令和特殊鋼株式会社へ商号変更)の株式を取得し、同社及び株式会社ナカタニを連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、ステンレス鋼その他金属材料の販売事業のセグメント資産が10,621,039千円増加しております。

## 3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	546,902
セグメント間取引消去	806
四半期連結損益計算書の営業利益	547,708

## 4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

ステンレス鋼その他金属材料の販売事業において、住商特殊鋼株式会社の株式を当第2四半期連結会計期間に取得したことにより、のれんが1,060,519千円発生しました。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。